JMA マネジメントスクール

ヒューマンエラー対策セミナー

～ エラーの背景にある様々な要素を把握し未然防止する ～

開催日時

2026年 6月18日(木) 東京会場
2026年 9月15日(火) 名古屋会場
2026年11月11日(水) 東京会場
2027年 2月17日(水) 名古屋会場

各回とも10:00～17:00

対　象

- 品質管理・品質保証部門、検査部門の管理者、スタッフ
- 製造技術・生産技術部門、製造部門の管理者、スタッフ
- ヒューマンエラー対策、品質向上、品質改善を推進されている方々
- 品質改善に興味をお持ちの方々、なぜなぜ分析を活用したい方々

講　師

小川 正樹 氏　JMA専任講師 /
㈱MEマネジメントサービス 顧問
マネジメントコンサルタント・技術士（経営工学）

参加料(税込)

法人会員：56,100円/1名
会 員 外：61,600円/1名

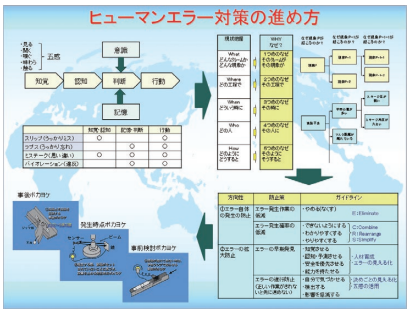
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

製造業に限らず、あらゆる産業で必ず起きてしまうのがヒューマンエラーです。ヒューマンエラーを起こす主要因(真因)は深く予想しがたい面があり、対策後も再発することが多くみられます。本セミナーの特徴は、再発防止対策に結び付く主要因(真因)を明確にし、対策案と歯止め策の立案から未然防止までをノウハウ演習と体験学習で学んでいただきます。

本セミナーのポイント

- 体系化した再現性のあるヒューマンエラー対策の手順が明確になります。
- ヒューマンエラーを起こす要因と人間の特性が明確になります。
- 成果に結び付くヒューマンエラーの層別方法を解説します。
- ヒューマンエラーの要因分析と真因の分析方法が実践できます。
- 再発防止のアイデア発想法が体得できます。



■ プログラム

10:00～17:00　［昼食］12:00～13:00

1 モノづくりにおけるヒューマンエラーのリスク
(1)ヒューマンエラー対策の歴史努力に学ぶ
(2)ヒューマンエラーの発生頻度とハインリッヒの法則
(3)ヒューマンエラーを引き起こすメカニズムは何か
(4)ヒューマンエラー対策の組織的な取り組み方

2 ヒューマンエラーの対象となるテーマ・課題の設定
(1)ヒヤリハットでデータの収集
(2)発生例はないが、発生可能性のあるヒューマンエラーの想定
(3)影響度と発生頻度でヒューマンエラーの層別
演習 自社のヒューマンエラーの層別

3 ヒューマンエラーの要因の見える化
(1)5Mとなぜなぜ分析で要因の追究
(2)ヒューマンエラー発生のメカニズムの把握
演習 自社のヒューマンエラー事例でのなぜなぜ分析の実践
(3)なぜなぜ分析不要の解析
(4)NASAの比較分析に見る論理的解析

4 主要因（真因）を見つけ対策を立案し効果の確認
(1)改善の4原則で対策の立案
(2)発生防止の観点からヒューマンエラーの対策
(3)拡大防止の観点からヒューマンエラーの対策
(4)ハインリッヒの原則を徹底利用したヒューマンエラー対策の実務
演習 自社のヒューマンエラー事例での対策の検討

5 対策の実施と歯止め・標準化と未然防止
(1)ヒューマンエラーを再発させない歯止の4ステップ
(2)デジタル時代にふさわしいポカヨケ適用法
(3)危険予知訓練を効率的に進めて未然防止に役立てる
(4)図面段階でのヒューマンエラー対策
(5)大脳生理学の実践利用によるヒューマンエラー対策訓練の成果

6 まとめと質疑&応答

※さらなるレベルアップには、
「品質管理の考え方と品質改善実践セミナー」（JMA151021）にご参加ください。

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

申込・セミナー詳細は JMA152383 検索